

新潟大学保健学雑誌投稿要領

平成 26 年 3 月 19 日
令和 7 年 3 月 14 日一部改正
新潟大学保健学雑誌編集委員会
令和 8 年 3 月 26 日一部改正
新潟大学保健学雑誌編集委員会

1. 新潟大学保健学雑誌（以下本誌）は、新潟大学大学院保健学研究科、大学院医歯保健学研究科健康科学専攻看護学プログラム・次世代医療技術科学プログラムおよび医学部保健学科における教育研究の成果を公表するものである。本誌の目的および投稿資格者等は、新潟大学保健学雑誌発行要項を参照する。
2. 本誌への投稿条件として、人および人体材料を用いた研究の場合は「ヘルシンキ宣言」（世界医学会）や「臨床研究に関する倫理指針」（厚生労働省）などの倫理的指針に従う。また、動物実験を含む研究の場合は「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省）などの指針に従う。倫理審査委員会の承認を経た場合は、その名称と承認番号を本文中に明記する。
3. 投稿期間は、原則として発行年の前年 10 月末日（祝日の場合はその翌日）までとする。
4. 和文論文、英文論文を受け付ける。和文論文の場合、「表題」「ランニングタイトル」「要旨」「key words」に英文も併記する。
5. 英文原稿については、著者の責任において **native speaker** による英文校正をうけること。和文原稿の英文抄録についても、英文校正を受けることが望ましい。
6. 和文原稿は、A4 版横書き 24 字×30 行（720 字）を 1 頁に設定する。英文原稿は、A4 版横書きダブルスペースとする。各ページにはページ番号を付し、行番号も入れる。
7. 原稿の文字数は、文献注等を含め「原著」「総説」は 12,000 字（英文の場合は 6,000 語）以内、「症例報告」「報告」は 8,000 字（英文の場合は 4,000 語）以内、「その他」は 4,000 字（英文の場合は 2,000 語）以内を原則とする。
8. 「原著」「症例報告」「総説」「報告」の場合には、400 字以内（英文の場合 250 語以内）の要旨および 5 語以内の **key words** を記載する。
9. 和文ランニングタイトルは 25 字、英文ランニングタイトルは 12 words 以内とする。
10. 図表、写真等は、1 点を 1/2 頁（360 字）とカウントする。
11. 論文の構成は、表題、著者名、所属、要旨、**key words**、緒言、方法、結果、考察、結論、引用文献の順に記載することを原則とし、内容に応じて自由とする。
12. 本文の書式は、原則として横書き、新仮名遣い、常用漢字を使用する。句読点は全角とし、欧米文字、算用数字は半角とする。フォントは、和文の場合「MS 明朝体」、英

文の場合は「Century 体」とし、文字の大きさは 10.5 ポイントを原則とする。

- 1 3. 表題のフォントは、和文の場合「MS ゴシック体太字」、英文の場合は「Century 体太字」とし、文字の大きさは 16 ポイントとする。文字配置は中央寄せとする。
- 1 4. 著者名のフォントは、和文の場合「MS 明朝体太字」、英文の場合は「Century 体太字」とし、文字の大きさは 14 ポイントとする。文字配置は中央寄せとする。
- 1 5. 図等は、挿入する大きさを一枚ずつ印刷し、出来る限り簡潔な説明文を付し、挿入箇所を本文余白に赤字で記入する。
- 1 6. 引用文献はバンクオーバー方式に則った記載とし、本文に引用された順に番号をつけて末尾に一括する。本文中の該当箇所には右肩上に片括弧で当該番号を記入する。共著者は 3 名以内（4 名以上は、和文は他、英文は et al）とし、雑誌論文は、「著者. 表題. 誌名 (Index Medicus、医学中央雑誌の記載に準拠). 発行年;巻数:頁。」の順に記載する。単行本等の書籍は、「著者名(編者名、監修者名): 書名. 出版者, 出版年, 発行地, 引用頁 (章の場合).」とする。ウェブページならびに PDF ファイルからの引用をする場合は URL を記載する。

例)

ア 雑誌論文

- 1) Halpern SD, Ubel PA, Caplan AL. Solid-organ transplantation in HIV-infected patients. *N Engl J Med.* 2002;347:284-7.
- 2) Takahashi N, Tsai DY, Lee Y, et al. Z-score mapping method for extracting hypoattenuation areas of hyperacute stroke in unenhanced CT. *Acad Radiol.* 2010;17:84-92.
- 3) 東智子, 関奈緒, 田邊直仁, 他. 災害対応業務が自治体職員の身体的健康に及ぼす影響—新潟県中越地震前後における健康診断検査値の変化に注目して. *新潟医学会雑誌.* 2010;12:671-81.

イ 書籍 (全体)

- 1) Murray PR, Rosenthal KS, Kobayashi GS, et al: *Medical microbiology.* 4th ed. Mosby, 2002, St. Louis.
- 2) 高木廣文: 質的研究を科学する. 医学書院, 2011, 東京.

ウ 書籍 (章のみ)

- 1) Meltzer PS, Kallioniemi A, Trent JM: Chromosome alterations in human solid tumors. In: Vogelstein B, Kinzler KW, editors: *The genetic basis of human cancer.* McGraw-Hill, 2002, New York, p93-113.
 - 2) 岩渕三哉: 消化器系. 胃・十二指腸疾患. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正(監): *ダイナミック病理学—365 症例からのアプローチ.* 西村書店, 2010, 東京, p490-501.
- 1 7. 原稿には表紙を付け、論文の種類、論文の表題、著者名および共著者の氏名、所属機関名、key words、代表著者の連絡先 (住所、電話番号、メールアドレス) を記載する。

18. 投稿論文の著作権は、編集委員会に帰属するため、論文に共著者がある場合には、当該論文の著作権の帰属について共著者全員の同意を必要とする。
19. 投稿は、電子データで行うものとし、新潟大学保健学科ホームページ内「新潟大学保健学雑誌」ページに掲載の投稿先へ、電子メールにより行うものとする。
<https://www.clg.niigata-u.ac.jp/activity/magazine.html>
20. 編集委員会が投稿の電子メールを受理した日を、投稿の受付日とする。
21. 原稿の採否は、査読を経て編集委員会が決定する。査読者は、編集委員会が依頼した査読にふさわしい本学の教員もしくは外部の有識者、2名があたる。なお、編集委員会が依頼した原稿についてはこの限りではない。査読により再提出を求められた原稿は所定の日時までに再投稿する。再投稿期限を過ぎた原稿は新規受付とする。編集委員会は投稿論文の体裁及び内容について修正を求めることがある。また、著者校正は1回のみとする。
22. 他誌に既発表あるいは投稿中の論文は、本誌への投稿を禁ずる。また、本誌に受理された論文は他誌に投稿できないこととする。
23. 本誌は別刷を作成しない。著者にはPDFを送付する。